

【網走開建、自治体】防災活動体制強化の取り組み

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

■北見河川事務所管内の自治体等と、防災活動体制の強化を図る目的で管内流域の現状及び危険箇所を把握するため、災害対策用ヘリコプター「ほっかい」で上空から合同巡視を行いました。
■自治体等（水防管理団体）が洪水時・土砂災害時等に迅速、かつ、的確な防災活動が行えるように、河川管理者と自治体が合同で実施する「合同巡視」の一環として、平成29年10月27日に常呂川流域自治体の訓子府町及び置戸町職員と合同で実施しました。



訓子府市街(常呂川KP68付近)



常呂川・訓子府川合流点付近から



常呂川KP61付近(H28.8出水による
災害復旧工事現場)



鹿ノ子ダム(おけと湖)



置戸市街(常呂川KP83付近)



自治体職員乗り込み状況
(北見水防拠点ヘリポート)